

【様式】

令和2年度 学校マネジメントシート

学校名（ 三重県立津東高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○生徒一人ひとりの良さを伸ばし、教職員一人ひとりの良さが活かしている学校。 ○地域における進学校としての教育・進学ニーズに真正面から応える学校。 ○自立・進取の気概を持ち切磋琢磨に努め、不断の進化を続ける学校。
(2)	育みたい 児童生徒像	○「向学立志」の校是を理解し、夢や目標をしっかり持ち、その実現に向けて主体的に努力を続ける生徒。 ○学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒。
	ありたい 教職員像	○連携の意識と向上心を持ち、新しいことにチャレンジすることを忘れず、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ○授業を大切にし、基本的生活習慣の確立、学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを伸ばそうとする教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<生徒> できれば国公立大学に進学したいと希望しており、それを実現できるよう、学力を付けられるわかりやすい授業を望んでいる。 <保護者> 子どもをできれば国公立大学に進学させたいと希望しており、それを実現するための授業力・進路指導力を期待している。 <地域・県民> 地域に貢献でき、学力に見合う豊かな人格と心を持つ生徒の育成、地域社会を担い、社会貢献する生徒の育成を期待している。	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<保護者・PTA> 確かな学力と進路保障、豊かな情緒や人格形成をして欲しい。 <地域> 地域の活性化に協力し、信頼できる学校となって欲しい。 <進学先（大学等）> 基礎学力と明確な目的意識、課題解決のための「思考力・判断力・表現力」を育んで欲しい。 <学習塾等学習産業> （中学生対象の学習塾）高校卒業後の進路状況などの情報提供をして欲しい。（高校生対象の学習塾）大学入試に向けた連携をして欲しい。	<保護者・PTA> 家庭での学習環境整備と学校教育活動に理解や協力をして欲しい。 <地域> 学校教育活動に理解や協力をして欲しい。 <進学先（大学等）> 生徒の進路希望実現のための情報提供をして欲しい。 <学習塾等学習産業> （中学生対象の学習塾）中学生保護者へ本校教育活動の情報提供をして欲しい。（高校生対象の学習塾）大学入試関連の情報提供をして欲しい。
(3) 前年度の学校関係者評価等	年度当初に立てた取組計画や設定した指標に対して、生徒・教職員ともに一丸となって取り組んでおり、一定の成果は上がっている。一方、生徒においては様々な場面を通じて自己肯定感の育成を図ることが重要であり、教職員においては余裕を持って業務に当たれるよう、ワークライフバランスを考えて取り組んでいただきたい。	

(4) 現状と課題	教育活動	生徒は落ち着いており、学習や部活動に熱心に取り組んでいるが、大人しい生徒が多く、自主性や積極性にやや欠け、高い目標設定をせず諦めてしまう場合がある。きめ細かくていねいな指導により学習意欲が高まり、国公立大学への進学者も増えている。新学習指導要領や高大接続改革も踏まえ、引き続き、情報収集、教育課程や指導の改善、主体的・自立的に学習に取り組む指導、生徒個々の状況に応じた指導に努める必要がある。また、挨拶の励行、人権教育の推進、活躍の場の設定等により、生徒の自主性や積極性を高める必要がある。
	学校運営等	教職員間の情報共有と共通理解の一層の推進により、学校全体で組織的、計画的に学校運営に取り組むとともに、開かれた学校づくりのため情報発信と関係機関等との連携を深める。教育活動の質のさらなる向上のため、より効果的な教育活動、効率的な業務を行うとともに、総勤務時間縮減に取り組み、働きやすい職場環境をつくる。

3 中長期的な重点目標

教育活動	○生徒の進路希望実現と「生涯学び続ける学力」をつけるために、生徒の実態を定期的に調査するとともに、新学習指導要領や高大接続改革等も踏まえ、教育活動の改善に向けた情報収集や研修会を進めながら、生徒の学力と進路意識の向上、教員の指導力向上に学校全体で取り組む。 ○部活動と学習の両立のための時間の使い方など、生徒の基本的な生活習慣を確立させる。一人ひとりの自尊感情を育成し、自分の良さに気づき、伸ばそうとする指導を重ねるとともに、人の気持ちを理解し他者と支え合いながら社会を創っていく社会人基礎力を育む。
学校運営等	○学年や分掌間で連携し、明るく相互に認め合い協力し合える組織文化を培うとともに、情報共有のしくみを作るなど、職員相互の対話と情報共有を促進し、学校全体の組織力を向上させる。 ○業務の効率化を図り、総勤務時間の削減に取り組むことで、教職員が元気にいきいきと職務を遂行できる環境づくりに努める。また部活動については「学校部活動運営方針」に基づき、その周知徹底と運用に取り組むとともに、働き方改革をさらに推進する。 ○学校運営への保護者・地域住民の参画を呼びかける。またホームページによる学校教育活動の情報提供を充実させるなど、開かれた学校づくりに取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路希望の実現	(1) 希望進路実現に向けた生徒・保護者の進路意識の向上とサポート体制の充実 【活動指標】 ・進路ガイダンスや進路講演会の実施 1 年生・2 年生：年 3 回以上 3 年生：年 5 回以上 ・共通試験出願と利用の奨励（出願率 90%以上） ・生徒一人ひとりとの丁寧な面談時間の実施（年間 3 回以上） ・保護者を対象とした進路懇談会の実施（年 1 回） ・模試の受験に向けた計画的な準備と振り返りの実施 ・生徒の心に寄り添った相談体制によって自己肯定感を育み高める	(年度末および適宜記載)	◎ ※

	・各種奨学金の紹介と手続きのサポート 【評価指標】 ・国公立大の合格者 80 名（現役・卒業生） (2) キャリア教育の充実 【活動指標】 ・体系的なキャリア教育確立に向けた「総合的な探求の時間」の見直し ・小論文や各専門分野、職業案内等キャリア関係図書の充実		
学習環境の整備	(1) 「生涯学び続ける学力」の醸成 ・授業の改善や教科指導力の向上に向けた研鑽の奨励 ・コース別に単位制に関わる授業のあり方について再考し、講座を見直す ・授業時間の確保 【評価指標】 ・授業アンケートの満足度 80%以上 (2) 新学習指導要領や高大接続改革等を踏まえた教育活動の改善 【活動指標】 ・新学習指導要領に対応した教育課程の検討と確定 ・Sクラスの3クラス120人体制の継続に伴う、講座編成、習熟度別授業のあり方について検討と改善 【評価指標】 ・令和4年度入学生教育課程の年内確定 (3) 生徒の学習環境の整備・改善 【活動指標】 ・生徒が使用する机・椅子・教室のカーテン等学習環境の整備 ・環境美化活動の徹底 美化委員による清掃確認：年12回 大掃除(中掃除含む)：年6回 ゴミゼロ運動：年1回（本年は新型コロナ対応により中止） 夏期除草作業、クラブ一斉清掃：年各1回	(年度末および適宜記載)	◎※
自主性・主体性の育成	(1) 自ら課題を見つけ自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成 【活動指標】 ・学校行事や学習の場で、生徒自らが対話を通して意思決定につなげる機会の創出 ・生徒会役員がリーダーとなり学校行事の運営を担う ・一斉読書や委員会などの活動を通して自主的に読書に親しむ機会を設ける（一斉読書：年2回） 【成果指標】 ・図書貸出冊数等（※数値目標は図書委員会にて決定）	(年度末および適宜記載)	◎

	・生徒会役員を対象とした満足度アンケート： 満足度 80%以上 (2) 差別を許さない態度と差別を見抜き、差別解消に向けて主体的に行動する力の育成		
安全・安心な学校づくり	(1) 他者を思いやり、互いに尊重することができる仲間づくりの促進 【活動指標】 ・「いじめ」の未然防止及び早期発見・早期対応をめざした取組の推進 - いじめアンケートの実施：年 2 回 ・他者を思いやる心の涵養 - 人権 LHR や講演会の実施 (2) 外部機関との連携による生徒・保護者の心身の適切なケア 【活動指標】 ・担任団の情報交換を毎日実施 ・学年・養護教諭・教育相談等との連携を密にする - 保健室利用状況の報告と学年との情報交換：年 10 回 - 教育相談係との連携：年 20 回以上 - スクールカウンセラーの活用（年 10 回） ・健康増進意識の向上 - 消毒液、石けん液の補充・確認：週 1 回以上 - 換気の呼びかけ：週 1 回以上 - 感染症予防に関する情報発信：10 回以上	(年度末および適宜記載)	◎ ※ ※
自尊感情と社会人基礎力の育成	(1) 規範意識の涵養と基本的生活習慣の確立 (2) 挨拶の励行とコミュニケーション力の育成 【活動指標】 ・全職員による登校指導を毎日実施 ・「薬物乱用防止講話」「交通安全講習」の実施（各年 1 回） ・職員が率先して声掛け（挨拶）を行う ・学校生活の全ての場面における全職員による指導の徹底 (3) 望ましい集団や社会の実現に向けて活動しようとする意欲や態度の育成 【活動指標】 ・人権 LHR の実施（年 2 回以上） ・「新聞を読もう」活動の実施（年間 15 回以上） ・社会人基礎力向上のために新聞や関連図書を広く収集し、情報提供を行う (4) 自己肯定感を育み高め、心身共に健全健康となるよう心のケアを中心に生徒と丁寧な対話を心がける	(年度末および適宜記載)	◎

(年度末に記載)

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学校全体の組織力の向上	(1) 横断的な組織形成と情報共有化の促進 ○ 学年・分掌における、縦と横の連携の円滑化 ○ 情報共有の徹底と個々の事例について連携を図りチームとして指導に臨める雰囲気づくりの促進 ○ 進路指導部と学年団の意思疎通を図り、お互いに協力して生徒への円滑な進路指導の実現 【活動指標】 ・各学年との進路懇談会の実施 1 学年・2 学年 : 年 5 回以上 3 学年 : 年 10 回以上 ・進路指導にかかわる研修会の実施 (年 10 回) ・研修会・研究会の情報共有の徹底 (2) 生徒一人ひとりを尊重し、個に応じた指導ができるよう、指導技術の向上と授業改善の実施	(年度末および適宜記載)	◎
開かれた学校づくり	(1) メディアの活用による情報提供の促進と多様な意見収集 【活動指標】 ・学年通信の発行 (月 1 回以上) ・各部通信の発行 (年 5 回以上) ・絆ネットの積極的活用 ・ホームページの更新 (月 1 回以上) ・報道機関への情報提供 (年 5 回以上) ・部員による部活動の魅力発信の実施 (2) 保護者や地域住民の学校運営への参画促進 【活動指標】 ・PTA 役員の学校行事への参加 ※本年度は新型コロナ対応により参加行事の中止が決定済 ・学校関係者評価委員からの意見収集 ・授業公開の実施 (年 2 回 ※6 月以降年 1 回) ・保護者対象の進路懇談会の実施 (年 1 回) ・保護者の教育相談室の利用促進 ・保護者への新着図書の案内と図書館開放	(年度末および適宜記載)	※ ◎

	図書案内の発行（年 8 回）		
目指す姿の具現化	(1) 目指す学校像の具現化に向けて、本校のあるべき姿や目指すべき方向性等についての対話促進 【活動指標】 ・学校ビジョン委員会の開催：年 6 回以上 ・学力向上推進委員会の開催：年 6 回以上 ・校長と教職員との面談：一人年 2 回以上	(年度末および適宜記載)	◎ ※
働きやすい職場づくり	(1) P D C A サイクルの実施による業務の効率化 【活動指標】 ・校内体制の見直しと会議時間の短縮 ・学校行事の企画・運営体制の見直し ○総勤務時間縮減について（ ）は令和元年度実績 【活動指標】 ・定時退校日を月 1 日実施し、設定した日の定時に退校できる職員の割合 80%以上(73%) ・部活動休養日を週 1 日設定し、予定通り休養日を設定した部活動の割合 100%(95%) ・放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合 85%以上(80%) 【成果指標】 ・月 45 時間を超える時間外労働者の年間の延べ人数 0 人(62 人／年) ・年間 360 時間を超える時間外労働者の年間延べ人数 0 人 ・一人あたりの時間外労働月 30 時間以内 (29.7 時間／月) ・休暇取得を年 0.5 日増加 (18 日／年)	(年度末および適宜記載)	◎ ※ ※ ※ ※
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)